



平成 24 年 2 月 29 日

各 位

会社名 住友化学株式会社
代表者 代表取締役社長 十倉 雅和
(コード番号 4005 東証・大証第 1 部)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 立元 秀和
(TEL. 03-5543-5102)

当社子会社による米国における企業買収について

当社子会社である大日本住友製薬株式会社（コード番号 4506、本社：大阪市、代表者：代表取締役社長 多田 正世、事業内容：医薬品の製造販売、その他事業、資本金：224 億円、以下「大日本住友製薬」）は、米国 Boston Biomedical Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ノーウッド、Chairman, CEO 兼 CMO：Chiang J. Li、以下「BBI 社」）と、大日本住友製薬が BBI 社を買収することについて、本日合意しましたので、別添資料のとおりお知らせいたします。

なお、買収完了予定は 2012 年 4 月のため、本買収による当社の 2012 年 3 月期連結業績見込みに変更はありません。2013 年 3 月期以降の業績への影響については、当面の間は軽微と見込まれますが、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

以 上



2012年2月29日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 多田 正世
(コード：4506、東証・大証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 樋口 敦子
(TEL. 06-6203-1407)

当社による米国医薬品会社 Boston Biomedical Inc. 買収（子会社化）について

大日本住友製薬株式会社（本社：大阪市、社長：多田正世）は、米国 Boston Biomedical Inc.（本社：米国マサチューセッツ州ノーウッド、Chairman, CEO 兼 CMO：Chiang J. Li、以下「BBI 社」）と、当社が BBI 社を買収することについて、本日合意しましたのでお知らせいたします。

合意内容に基づき、当社は BBI 社の株主及び BBI 社に対し、株式買収の対価として買収完了時に 200 百万米ドルを支払うとともに、将来、BBI 社が開発中の化合物（BBI608 及び BBI503）の開発マイルストーンとして最大 540 百万米ドルを支払う可能性があります。さらに、販売後は売上高に応じた販売マイルストーンとして、年間売上高が 4,000 百万米ドルに達した場合には合計として最大 1,890 百万米ドルを支払う可能性があります。なお、当社は、BBI608 及び BBI503 について、2015 年以降の発売を目指します。

1. BBI 社買収の目的

BBI 社はがん領域を専門とするバイオベンチャー企業で、がん幹細胞への抗腫瘍効果を目指して創製された低分子経口剤である BBI608 及び BBI503 の 2 つの有力な開発パイプラインを有しております。がん幹細胞を標的とする抗がん剤は、がん治療の課題である治療抵抗性、再発、転移に対する効果が期待されており、現在、がん治療に対する有力な手法として世界的に注目されております。がん幹細胞に特異的な標的分子の同定が困難であり、現在までのところ、がん幹細胞に対する抗がん剤が成功した事例はありません。したがって、BBI608 及び BBI503 は世界初のがん幹細胞に対する抗がん剤となる可能性を有しております。BBI608 については、現在、北米において大腸がんに対する第 3 相臨床試験実施の準備段階にあり、また各種固形がんに対する第 Ib/II 相臨床試験の段階にあります。BBI503 については、北米において進行性の各種固形がんに対する第 1 相臨床試験の段階にあります。

当社は BBI608 について、2011 年 3 月に、全てのがん種を対象に日本をテリトリーとした開発・販売権に関する独占的なオプション契約を BBI 社と締結しています。オプション契

約締結後、BBI 社の開発パイプラインの革新性及び高い創薬・開発能力を評価し、本買収を
決断するに至りました。

当社は第二期中期経営計画において、新薬継続創出に向けたパイプラインの拡充を掲げ
ており、がんや免疫疾患などのスペシャリティ領域をチャレンジ領域とし、ファーストイ
ンクラスの革新的な医薬品の創製を目指しております。がん領域はアンメット・メディカ
ル・ニーズが極めて高い領域であり、当社は、がん治療薬に挑戦することは研究開発型製
薬企業の重要な使命であると考えています。また、がん治療薬の市場は、抗体医薬や分子
標的薬、核酸医薬など新規治療薬の市場拡大が目覚しく、今後もサイエンスの進歩に伴い、
大きな事業チャンスが到来すると考えられています。

当社の代表取締役社長である多田正世は「当社は、BBI 社を買収することにより、がん領
域における革新的な開発パイプラインを獲得するのみならず、BBI 社の卓越した創薬・開発
能力の取得により、今後の継続的な開発化合物候補の創出が期待できる優れた創薬プラッ
トフォーム及び開発能力を獲得することとなります。これにより、米国での研究開発体制
を構築し、グローバルにおけるがん事業での当社のプレゼンスを高め、がん領域を精神神
経領域に次ぐ当社の将来の重点事業領域の一つとすることを目指します。」と述べています。

2. 買収の概要

本買収により BBI 社は、当社の 100%子会社となり、マサチューセッツ州ボストン地区で
事業を継続することが予定されています。なお、BBI 社は、BBI608 及び BBI503 の日本、北
米における独占的な権利を保有しています。

当社、BBI 社両社の取締役会はそれぞれ本件を承認しておりますが、本件の実行には米国
独占禁止法に基づく条件の充足、法定手続きの完了等が必要となります。これらの手続き
等を経て、2012 年 4 月の買収完了を目指します。なお、本件にあたっては、当社の財務ア
ドバイザーをシティグループ証券株式会社が務めています。

3. BBI 社の概要

- (1) 名称：Boston Biomedical Inc. (ボストン バイオメディカル社)
- (2) 所在地：米国マサチューセッツ州ノーウッド
- (3) 代表者の役職・氏名：Chairman, CEO 兼 CMO Chiang J. Li
- (4) 設立年月：2006 年 11 月
- (5) 資本金：5.8 百万米ドル
- (6) 株式の種類：非上場
- (7) 大株主：1Globe Health LLC (Founder: Dr. Chiang Li) が過半数を占めており、株
主数は合計 6 名です。
- (8) 従業員数：30 人

(9) 当社との関係：2011年4月7日発表の通り、当社はBBI社との間でBBI608について全てのがん種を対象に日本をテリトリーとした開発・販売権に関する独占的なオプション契約を締結（2011年3月締結）しております。それ以外には、当社とBBI社との間には、特筆すべき資本・人的・取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本・人的・取引関係はありません。

(10) 資産等：

総資産 15 百万米ドル、純資産 7 百万米ドル（2011 年 8 月末時点、監査未了）

現在まで上市できた製品が無く、製品売上高はありません。

(11) 事業内容：BBI 社は、がん幹細胞領域の研究開発に特化したバイオベンチャー企業です。世界初のがん幹細胞に対する抗がん剤となる可能性を有する BBI608 及び BBI503 を開発中です。

4. 当社業績に与える影響

2012年4月の買収完了予定のため、本買収による当社の2012年3月期連結業績見込みに変更はありません。なお、2013年3月期以降の業績への影響については、当面の間は軽微と見込まれますが、開示すべき事項が生じた場合は速やかにお知らせします。

以 上